

回鶻の興
亡波斯文
學の隆盛

成吉思汗
の征討

にし來て之を天山南路に置く。該人民は皆回教徒なり、其後開寶五年(九百七十年)布格
拉囚徒の大半を釋して本國に遣歸す其歸るを願はざるものは留つて直轄の民と
なる當時土人之れを指して東干トシガンと呼ぶ東干トシガンとは回詰遺種と譯す現今の東干種族
即ち漢回なるもの是なり。

亞刺比亞人の勢力衰ふるに及んで、回鶻ウイグル畏兀兒人ウイグル南路に大國を創立し、大に開明
の域に達し、波斯文學盛に行はれ回徒は「スニート」の正派を奉じ十世紀(唐末)に於て
其國は裏海地方より戈壁に至るの地を包括せしが、宋代(十二世紀)の初め、國內爭亂
して、遂に蒙古族カラキタイ黑契丹タイの爲めに亡されたり。黑契丹の中央亞細亞を領有せしは
凡そ百年間にして、其時の境界は基華キワに達せり、其滅亡は、又内亂其基を爲せり。

元の太祖成吉思汗(千二百年代)驀然起て黑契丹を討滅し、一舉西域を掃蕩するや、子弟
を以て其の君長とす。第二子察哈臺チャガタイ、土耳其機斯坦に封せられ、所謂西域の察哈臺國
を成し、子孫數世相傳へて、圖克爾ツグルク帖木兒汗チムルに至る(第十四世紀)即ち明代の央蒙古
人の政治盛なりし時は、此地の文明は隆盛にして、今古未だ嘗て之あらざる所なり
且つ宗教の自由を許せし爲め、回教は其猛威を減じ、耶蘇教會堂佛教寺院も亦回教